

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学救急医療学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年6月

福島県立医科大学医学部救急医療学講座 菅谷一樹

■ 研究課題名

サーキット場で生じた救急搬送事案の検討

■ 研究期間

2023年6月～ 2024年6月

■ 研究の目的・意義

二本松市の「エビスサーキット」では一年を通してレースイベントが開催されており、しばしば、我々の救命センターにレース事故での傷病者搬送がされています。ドクターヘリで搬送されるほど重篤な事故も散見されています。本来、安全管理が徹底されるべきレース場で事故が頻発しており、安全面はもちろんのこと、搬送方法や治療などについて後方視的な検証が必要です。一方で、本邦ではレース場やサーキット場での車両事故に関する疫学調査の報告はありません。今回、エビスサーキットで生じた救急搬送事案を検討し、今後の現場活動や治療に役立てることを目的として、臨床疫学の研究を開始する運びとなりました。

■ 研究対象となる方

2013年1月1日から2022年12月31日までの10年間で、エビスサーキットを救急要請地点として当院へ搬送された方が対象です。

■ 研究の方法

作成日： 2023年 4月 12日（第1版）

対象となる方の診療情報から①診断名、②ICU滞在日数、③入院日数、④輸血量、⑤人工呼吸器使用日数、⑥AIS、⑦ISS、⑧PS、⑨緊急手術(搬送後24時間以内の手術)の有無、⑩転帰を調査し、⑪90日間生存有無を他院の診療情報提供書より取得します。

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学 救急医療学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学救急医療学講座 菅谷一樹です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学 救急医療学講座で利用し解析を行います。

<既存試料・情報の提供のみを行う機関>

機関名	所属	既存試料・情報の提供のみを行う者
安達地方広域行政組合	消防本部	須藤 邦夫

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

収集された情報の一部を解析目的などで、外部期間へ提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部 救急医療学講座 担当：菅谷一樹

電話：024-547-1581 FAX：024-547-3399

e-mail：sugaya-k@fmu.ac.jp